



第21回上田八木・金融政策サーベイ(2018年7月)

発表日：2018年7月27日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年7月24～26日
調査先	193先
回答率	89.1%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（7月30日～7月31日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回6月13日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	94	100	▲6
引締	5	0	+5
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	4	0	+4

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月13日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	90	92	▲2
上昇	8	7	+1
短期金利予想DI	+6	+6	+0

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月13日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	81	94	▲13
上昇	17	5	+12
2年国債金利予想DI	+15	+4	+11

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月13日)	変化幅
低下	4	1	+3
不変	56	90	▲34
上昇	40	9	+31
10年国債金利予想DI	+36	+8	+28

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回6月13日)	変化幅
1. 1年未満	9%	4%	+5%
2. 1年以上3年未満	57%	61%	▲4%
3. 3年以上	34%	35%	▲1%